

健康サポート薬局 情報発信の取組み

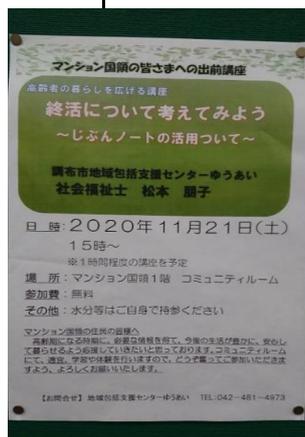
スマート ライフロング プログラム

健康サポート薬局 活動報告

申請日: 2020 年 12 月 22 日

| | |
|-------|--|
| 申請企業名 | 株式会社アイセイ薬局 |
| 開催店舗名 | アイセイ薬局 国領店 |
| 店舗住所 | 東京都調布市国領町3-3-20よろずやビル104 |
| 催事名 | 第三回:高齢者の暮らしを広げる会 |
| 開催日 | 2020年12月8日(火) |
| 催事内容 | <p>・主催: 地域包括支援センター「ゆうあい」、アイセイ薬局国領店</p> <p>・参加者: 地域住民 11名</p> <p>1. テーマ 住民の皆様へ健康への意識を高めていただく勉強会(高齢者の暮らしを広げる会)にて、「終活について考える」をテーマに講演。講師: 包括支援センターの社会福祉士</p> <p>2. 活動内容 写真①マンション国領内掲示板にて会の開催を周知 写真②包括支援センターから参加者へエンディングノートを配布 写真③包括支援センターのスタッフによる講演 写真④アイセイ薬局薬剤師による耳の聴こえの低下による生活への影響についての説明「自宅で聴こえの相談会」のお知らせを配布</p> <p>3. 内容詳細 ①「終活について考えよう」をテーマに地域包括センター「ゆうあい」社会福祉士 調布市2019年11月刊行の『じぶんノート 調布市版エンディングノート』の紹介 事例紹介: Aさん83歳女性一人暮らし 自宅で体調悪化し救急搬送され、緊急連絡先などの基本情報やその後の入院費の手配に必要な金融機関情報、保険情報等を元気なうちに書き留めておくことが重要であった。 ワーク: 参加者各自配布されたじぶんノートへ書き込んでみましょう。 調布市にて75歳以上独居の方へ緊急通報システム(SECOM)の登録ができることの紹介 ②薬局より紹介 耳の聴こえの低下について例を紹介し聴こえの相談会のお知らせを配布 事例紹介: 男性の場合、聴こえないことにより声が大きくなりいつも怒っているのかと周りから感じられてしまう。女性の場合、何度も聞き直したりすることが恥ずかしく、わからないままにしてしまう。どちらの事例も結果人とのつながりが疎遠になっていき認知症の症状悪化へつながってしまう。独居の方は自然とTVの音量を上げてしまっているの自分では聴こえずらくなっていることに気が付かないこともあり無料の聴こえの相談会へぜひ参加してほしいということを説明。</p> |

活動写真



説明会の様子(演者)